

北里大学水産学部同窓会 三水会設立 20 周年記念号

2000年9月1日発行

三水会 20 年の時を回顧して



三陸十二景

『新たな飛躍に期待して』



三水会会長 長谷川 一敏

水産学部同窓会として発足した「三水会」は西暦二千年に創立二十周年の節目を迎える運びとなりました。

これを機に同窓会では記念行事の開催を進めてまいりました。

今、皆様ご覧の「三水会会報二十周年記念号」の発行、そして全学同窓会の御協力のもと、十一月四日、東京池袋サンシャインシティにて開催の「二十周年記念講演会」さらに、第二部として、同サンシャイン国際水族館で行われます「二十周年記念親睦会」を計画致しました。

いずれも企画委員会並びに三水会役員、代議員の協力と各研究室OB会の御協力に感謝申し上げます。

そしてこの二十周年記念事業が契機となり会員同士の絆が深まることを願っております。

水産学部は、今春、二十五期生を社会に送り出し、すでに会員も四千名を数えるに至りました。

会員の方々それぞれの職場で御活躍のことと存じます。本学で学んだ校風と実力をいかに発揮される為にも会員相互の交流はもちろん大学との関係を深めていかなければなりません。

同窓会はこれからも組織の充実につとめ、会員方々の同窓会に望む事に応え、より大きく発展して行きたいと考えております。

そして「新たな飛躍」が母校北里大学の発展に少しでもお役に立てれば幸いであることを念じています。

『三水会のさらなる発展に向けて』



前三水会会長（北里大学同窓会副会長） 長屋 信博

三水会二十周年おめでとうございます。古い資料や写真を整理していると、ふつとその当時から昨日のように思い出されるのは歳をとったからでしょうか。

学部同窓会を基にした組織づくりの方向を出した全学同窓会の動きを受け、私を含め同窓会について多くの知識を持たない役員は、三水会の名づけ親である元学長の松浦先生や全学同窓会の役員など多くの方々のご協力を得て設立に向けた準備を手探りで進め、なんとか設立総会を迎えた時のことがなつかしく想い出されます。

設立当初、どのような同窓会としていくか皆で話し、なるべく多くの会員が参加し、利用される同窓会をめざしていくことをコンセプトとしました。そのため、会員の身近な存在としての同窓会づくりをテーマとし、会員が集う親睦会の開催や同期会等への助成、会員間で連絡をとるための名簿管理の充実、準会員である在学生に対する就職ガイダンスの実施等、多くの事業の企画が理事会で検討され、他の学部同窓会のモデルともなつて実践されてきました。

三水会の会員数は四千人を越え、全学同窓会の会員は四万人になろうという大きな組織になっていく中、身近な存在としての同窓会のあり方があらためて問われていくのではないのでしょうか。三水会では研究室OB会の設置等を進めています。地方単位や職域単位等の多くの集まりがもたれ、これが三水会のサブシステムとして連携していくことが今後ますます重要になっていくことと思います。

成人式を迎えた三水会が、様々な分野で活躍されている会員の方々のご理解と参加を得て、一人前の組織としてさらに発展し、大学や社会のために貢献していくことを望むものです。

三水会活動二十年のあゆみ

昭和 五十五年 五月 「三水会」発足

写真1

七月 就職ガイダンス開催 (三陸) 毎年継続

十月 三水会会報発行 年二回発行

五十七年 七月 「三陸バス旅行」水産学部創立十周年記念

写真2、3

五十八年 十月 関東地区親睦会開催 毎年継続

写真4、5、6

五十九年 十一月 中部近畿地区懇親会 (名古屋)

六十一年 二月 東北地区懇親会 (花巻)

六十二年 二月 関西地区懇親会 (大阪)

六十三年 十月 第一回銀鮭養殖を考える会 (東京)

平成 元年 七月 第二回銀鮭養殖を考える会 (三陸)

写真7、8

二年 二月 北海道地区懇親会 (札幌)

三年 四月 第一回三水会セミナー (東京)

五年 十月 第二回三水会セミナー (東京)

七年 七月 第三回三水会セミナー (東京)

水産学部第一期生卒業二十周年記念三陸ツアー

写真9、10

八年 七月 第二回北海道地区懇親会 (根室)

十一年 一月 第三回北海道地区懇親会 (札幌)



(写真4)



(写真5)



(写真6)



(写真7)



(写真1)



(写真2)



(写真3)



(写真8)



(写真9)



(写真10)

叡智



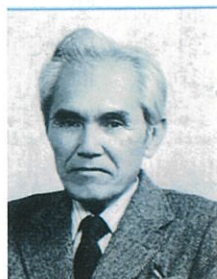
学祖北里柴三郎先生

実践

歴代学部長



椿 精一



土屋 靖彦



松浦 文雄



太田 静行



藤野 和男



橘高 二郎



平野 禮二郎



神谷 久男

水産学部長	氏 名	就 任 年 月	退 任 年 月	在 任 期 間
	椿 精一	昭和47年1月	昭和48年4月	1年2ヶ月
	土屋 靖彦	昭和48年4月	昭和50年3月	1年11ヶ月
	松浦 文雄	昭和50年4月	昭和55年6月	5年2ヶ月
	太田 静行	昭和55年7月	昭和57年6月	2年
	藤野 和男	昭和57年7月	昭和61年6月	4年
	太田 静行	昭和61年7月	昭和63年6月	2年
	橘高 二郎	昭和63年7月	平成4年6月	4年
	平野 禮二郎	平成4年7月	平成6年6月	2年
	神谷 久男	平成6年7月		

水産学部の沿革

昭和37年1月 学校法人北里学園を設立

昭和47年4月 水産学部（水産増殖学科・水産食品学科）増設

昭和51年4月 大学院水産学研究科修士課程を増設

昭和53年4月 大学院水産学研究科博士課程を増設

平成12年4月 水産学部（水産増殖学科・水産食品学科）を（水産生物学科）に改組

平成12年4月 大学院水産学研究科（水産学専攻）を（水圏生物科学専攻）に改組

水産学部長挨拶



水産学部長 神谷 久男

三水会設立二十周年おめでとうございます。
太平洋を望む三陸の地に水産学部が北里大学の五番目の学部として産声を上げたのは昭和四十七年でした。

新しい水産学研究を推進するべく集まった教職員とともに、二十一世紀の水産を担おうと強い意欲を持つ学生諸君がその場に集まりました。

三陸とともに水産学を学んだ同窓生が世代を越えてその連帯を深めようと、同窓会設立の機運が高まり、当時の学部長、松浦文雄先生によって「三水会」と命名されたのは昭和五十五年五月のことと聞いております。

三水会は四千を超える水産学部卒業生の連帯の礎として二十年の歴史を歩んでこられました。

この間、同窓会としての活動に力を注がれておられるほか、在学生に対しても様々な援助も戴いて参りましたことは真にありがたいことと感謝しております。

三水会のますますの発展を祈念するとともに、水産学部の良き理解者として一層のご支援をお願いいたします。

三陸町長挨拶



三陸町長 佐々木 菊夫

北里大学水産学部同窓会「三水会」が、このたび設立二十周年を迎えられ、記念号特別会報を発行する運びとなりましたことは、誠に意義深いものと存じ、心からお喜びを申し上げます。

本町に北里大学水産学部が開学したのは昭和四十八年で、今から二十七年前のこととなります。

この間、今日に至るまで本町の発展のみならず、我が国の科学及び水産振興発展に大きく貢献されてこられました。

三水会におかれましては、この輝かしい歴史と伝統を保持しつつ、今後とも大きな抱負と情熱、活力を持って、取り組んでいただきたいと思っております。

このたびの設立二十周年を期に、三水会会員が一層団結を強め、益々ご活躍されますようご祈念申し上げます。

皆様方のご繁栄とご健勝を心から祈念し、三水会の今後の一層のご発展をご期待申し上げます。北里大学水産学部同窓会「三水会」設立二十周年のお祝いの言葉といたします。

三水会歴代役員

第八期 平成十二年 ～ 平成十四年	第七期 平成九年 ～ 平成十一年	第六期 平成六年 ～ 平成八年	第五期 平成三年 ～ 平成五年	第四期 平成元年 ～ 平成二年	第三期 昭和六一年 ～ 昭和六三年	第二期 昭和五八年 ～ 昭和六十年	第一期 昭和五五年 ～ 昭和五七年	
長谷川 一敏 (3A)	長谷川 一敏 (3A)	長屋 信博 (1A)	長屋 信博 (1A)	長屋 信博 (1A)	長屋 信博 (1A)	長屋 信博 (1A)	長屋 信博 (1A)	会 長
佐藤 畠山 伊豆男 俊之 (6A) (4A)	佐藤 畠山 伊豆男 俊之 (6A) (4A)	長谷川 其阿弥 一敏 喜嗣 (3A) (1A)	長谷川 大野 一敏 良樹 (3A) (1A)	長谷川 大野 一敏 良樹 (3A) (1A)	田村 其阿弥 治 喜嗣 (2A) (1A)	田村 其阿弥 治 喜嗣 (2A) (1A)	田代 大野 茂年 良樹 (2A) (1A)	副 会 長
伴 大野 圭司 良樹 (1A) (1A)	伴 島田 圭司 和明 (1A) (1F)	伴 佐々木 圭司 英生 (1A) (1F)	伴 佐々木 圭司 英生 (1A) (1F)	伴 佐々木 圭司 英生 (1A) (1F)	伴 佐々木 圭司 英生 (1A) (1F)	伊藤 佐々木 知尋 英生 (4F) (1F)	長坂 佐々木 基記 英生 (2F) (1F)	監 事
町野 齊藤 石井 長屋 至勤雄 信博 (4A) (3F) (1A) (1A)	齊藤 石井 長屋 大野 勤雄 信博 良樹 (3F) (1A) (1A) (1A)	横堀 島田 石井 大野 昌和 雄 良樹 (2A) (1F) (1A) (1A)	横堀 田村 島田 其阿弥 昌治 和明 喜嗣 (2A) (2A) (1F) (1A)	田村 島田 其阿弥 和治 和男 喜嗣 (2A) (2A) (1F) (1A)	田中 島田 其阿弥 和良 和男 喜嗣 (2A) (1F) (1A) (1A)	岡代 森下 大野 茂年 寛 良樹 (2A) (1F) (1A) (1A)	田村 田中 宮川 其阿弥 治 和良 忠彦 喜嗣 (2A) (2A) (1A) (1A)	理 事
堀内 川添 水野 高橋 岳朗 幸司 明義 (6F) (6F) (5A) (5F)	川添 水野 高橋 町野 一幸 明義 至 (6F) (5A) (5F) (4A)	町野 島田 齊藤 田村 至俊勤治 (4A) (4A) (3F) (2A)	石井 町野 島田 関口 美華 至俊二 敬 (4A) (4A) (4A) (3A)	島田 石井 関口 横堀 俊美 華二 道 (4A) (4A) (3A) (2A)	石井 長谷川 関口 横堀 美華 一敏 敬 (4A) (3A) (3A) (2A)	長谷川 関口 横堀 田中 敬二 昌道 和良 (3A) (3A) (2A) (2A)	村上 関口 山崎 前田 益男 敬二 一法 利光 (3A) (3A) (3F) (2F)	
西尾 黒沢 内藤 立原 徹 明 文隆 弘 (14F) (10A) (8A) (6F)	西尾 平本 中村 栄 徹 愛明 (14F) (12A) (9A)	齊藤 佐藤 川添 高橋 有紀子 伊豆男 明義 (8A) (6F) (6F) (5F)	齊藤 太田 佐藤 高橋 有紀子 浩司 伊豆男 明義 (8A) (6F) (6F) (5F)	佐藤 太田 坂本 小川 伊豆男 浩司 雅哉 治男 (6A) (6F) (6F) (5F)	太田 坂本 能勢 畠山 浩司 雅哉 尚一 俊之 (6F) (6F) (4F) (4A)	坂本 石井 石黒 田中 雅哉 美華 信良 信介 (6F) (4A) (4F) (3A)	平井 横山 小宮山 田中 美華 茂 克尚 信介 (4A) (4F) (4F) (3A)	
田中 楠本 小林 和義 毅 博子 (17A) (16A) (16A)	楠本 小林 中山 毅 博子 統一郎 (16A) (16A) (14F)	小林 中村 栄 博子 (16A) (9A)	中村 栄 (9A)	中村 齐藤 有紀子 (9A) (8A)	中村 栄 (9A)		坂本 佐藤 伊豆男 雅哉 (6A) (6F)	

三陸カップル

二期生 平澤 正幸 夫妻
寿美子



十五年ぐらい前に家族で三陸の水産学部を訪れた時の写真です。
この子たちも今、十九歳、十七歳、十五歳になりました。
なぜか私達に続いて長男も水産学部二年に在籍中です。

九期生 真篠 勉 夫妻
幸子



单身生活も早三年、いよいよいたについてきました。親がなくとも子は育つとよく言いますが、本当にそのようで父親が三年もいないに関わらず、二人の娘はすすく元気に育っています。我が儘を言つて单身で札幌に来て仕事をしていると本当に家族に感謝しなくてはならない感じがします。皆様のご家庭はいかがでしょう？今年も、釣りに勤しんで札幌の短い夏を思う存分楽しみ考えています。家族は何を考えているのでしょうか。てな具合に頑張っている毎日です。

十六期生 深山 健太郎 夫妻
周子



宮尾君撮影

卒業十年目 増えたのは 家族だけでなく、 体重も！
三陸時代、生物部の仲間とよく一品持ち寄りで食事会をしました。会場はいつも下宿長根荘。さて、食べることには人一倍こだわる二人。転勤で全国各地を廻り、土地の名物料理を堪能しているうちに二人あわせて二十kgも太ってしまいましたとサ。
(現役の長根荘です。P十参照)

学友会活動草創期の思いで

一期体育会会長 其阿弥 喜嗣

四十代も後半にさしかかっている我々学部草創期のメンバーにとって、学生時代の思いでは、「遠い過去のかすかな記憶」と若い会員の方々は考えられるかもしれませんが、そんなことはありません。年齢が増す毎に学生時代の楽しい思い出がよみがえってくるのです。昨日紹介された得意先の名はすぐに忘れてしまうのに、学生時代の同級生の名は今もすぐ出てくるのです。

そんな訳で同窓会から学友活動の思いを書いていると依頼された瞬間から、次々に思いが頭の中を駆けめぐる毎日です。

私は二年・三年次の二年間に渡って体育会の会長を務めさせてもらいました。そしてなんと今も「学友会」の活動の中心に立っています。学友会の夜に行われた三陸踊りの計画を進めたことが、深く印象に残っています。

現在学友会のコースがどのようになっているかは知りませんが、草創期のコースは大学を出発して崎浜・三陸町を通り、綾里方面に向かい、折り返し点を巡って大学へ戻るコースでした。当初の計画を立てるときは、釜石まで行くとか、いや大船渡折り返しなど色々な意見を戦わせたのを覚えています。また、三陸踊りの時は、水産学部なのだから魚を配ろうとか、食品学科に頼んで、水産練り製品を配ろう等の意見が出たのを覚えています。

結局一丁の裸踊りとなったのですが、選出されたぶん苦労があったのです。でもここからは我が水産学部の伝統行事になったとの事。我々草創期メンバーにとって感謝の一言です。

このほかにもどんな思いではよみがえってくるのですが、私ばかりが紙面を独占する訳にもいかなないので、後輩の方々に譲ります。私の書けなかった事を是非たくさん書いてください。



なつかしき、三陸

九期体育会委員長 垣内 省吾

初めまして、私が水産体育会九代目です。水産学部の為、一年時相模の運動部に入れてもらえず、北里病院でボランティアをしていました。三陸ではアメラグに入り、仙台中心に東北各地を回れる遠征が楽しかった。

ただ、当時の体育会は、昔風の旧体育会で、初期の水産学生が院生にあり、コンパ・日常生活での制約、無言の圧力があつたと思います。

たつた三年間でしたが、授業より多くを学び、今の自分が有るのも、あの三陸で生きてきたという自信でしょう。

一番の思いでは体育会納会です。

先輩六十人対新役員七人のバトル？

一人倒れ二人倒れ、部屋からトイレまで新聞が並べられた花道を今も忘れられません。

あれほど緊張し飲んだ事はなく、私がボケ老人になつても力モメ、酔仙の銘柄は忘れないでしょう。

あれから二十年が過ぎ、飲んでもボトル一本になつてしまいましたが、未だ捨てられず、女房に怒られる「赤ふん」

たつた一本の赤ふんですが、三陸を語れ、友を懐かしみ、漁り火を思い出す。

多くの困難を越え、相模で初めて漁り火をやり、後輩たちが続け、賞をもらったと聞き嬉しく、尻出して褒められ、馬鹿になれる彼らを自慢に思うし、大切にしたい。

体育会だけでなく、あそこに居た「三陸か」の一言で、時代を超え話ができる我々の水産学部に感謝し、今後も後輩達が頑張ってくれる事に期待しています。



大漁踊りの思い、今も

十四期体育会委員長

大坪 孝志

体育会委員会の委員長をしていた中で、今でも悔やまれることがあります。それはその年の「大漁踊り」を「漁火祭」のまさにその当日に中止の判断をしたことです。

理由は・・・朝からのひどいどしどし降りの雨でした。

大漁踊りはご存じの通り二年生主役です。練習当初は、不服な感情をハラにためていた学生たちも、踊りや歌の上達とともに真剣に取り組む姿勢へと変わっていきしました。

またそれに呼応するかのように他の皆全員が熱い思いを抱き本番当日をむかえたのです。

期待と不安の思いを込めた大漁踊りの中止決定は、当時二年生だった彼らの三陸生活の思い出に大きな穴を空けてしまったのではと申し訳ない気持ちでおります。厳しい稽古を毎日積んでいただけに尚のことです。

（あの髪型から社会復帰するのも大変であつたらうし・・・）

もしもタイムマシンがあるのなら、皆でもう一度あの瞬間に戻り、思う存分「大漁踊り」を踊りたいと思うのですが、皆さんは、もう懲り懲りでしょうか？



出会いから学んだこと

二十七期漁火祭実行委員長

谷水 喜代子

私は、水産学部に入學してから四年目に突入しました。専門的な講義を受け、その実習等に真面目とまでは言えませんが、自分なりにがんばって取り組んで来ました。しかし、私を大きく成長させてくれたのは、そのような学業だけではありませんでした。

昨年度、私は漁火祭実行委員長を務めさせていただきました。漁火祭の（その規模は小さいけれども）一つのイベントを発起し、成功させることがいかに大変なことか。

そして、そのイベントに関わる人たちの望みは一つなれども、その考え方や価値観の違いによる衝突がなんと多いことか。

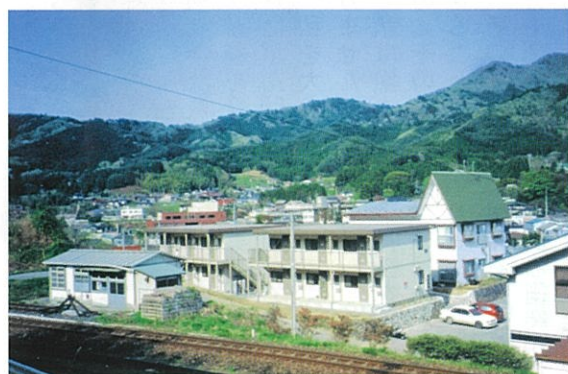
私はいろいろと考えさせられましたが、漁火祭当日、ろくに睡眠もとらずに額に汗し、文句の一つもいわずに働く仲間達を見て、悶々と悩む自分が滑稽に思えました。

案ずるより生むが易しです。同じ目標に向かって皆で力を合わせ成功をつかめたことを、とても誇りに思います。

私はその立場を通じてともに実行委員会を運営した友達達はもちろん、外から支援して下さった地元の方々とお会いすることによって、多くを学びました。

今年も後輩達が、漁火祭の着々と進めています。後輩達によき出会いがあることを祈ります。







株式会社 アムニス

代表取締役 ^{モタイ} 罇 ^{タモツ} 保

事業内容

エビ、カニ、サケをメインに輸入冷凍魚を量販店に販売

TEL 03-3541-5451 (代) FAX 03-3541-5436

卒業生 3 名活躍中！新入社員募集中

お気軽にTELください（丸山まで）

おくつろぎいただけるお宿

旅館 ささき

レジデンス 佐々木

TEL (0192) 44-2227



有限会社 アルファ・サポート

取締役社長 村田 和隆（水産食品学科1984年卒）

健康・美容・環境のサポートを目指し、1999年に独立しました。

事業内容

- 手足温浴器ゲルマくん製造・販売
- 新素材・腐らない木材！PLUSWOOD ADVISER

各種手摺り製造・販売及び新素材による各種建材の販売

- 低価格段差解消機を、中心とした介護関連機器の販売

TEL 03-5958-5221 FAX 03-3986-8823

PAGE-MAKER

株式会社 ペイジメーカー

代表取締役 高島 博志 (水産食品学科1979年卒)

* 本学卒業後、㈱リクルート入社。1985年に独立して現在に至ります (リクルート公認代理店)。
* 採用に関する事であれば、どんな事でもご相談に応じます。お気軽にお電話下さい。

●事業内容●

- 求人広告の企画制作 (ビーイング、とらば一ゆ、フロム・エー、新聞、雑誌等)
- 会社案内、パンフレット等の印刷物の企画制作
- 新卒採用、中途採用の企画及び総合コンサルタント

TEL 03-3725-1633 (代) Eメール: ANC54142@nifty.com

岩手名産
三陸わかめ

遠 藤 物 産

〒022-0101 岩手県気仙郡三陸町越喜来字東崎浜 8 8

☎ (0192) 44-3214

松前商店

〒022-0101
気仙郡三陸町越喜来字前田 33-1

TEL 0192 (44) 3156
FAX 0192 (44) 3484

フリーダイヤル
0120 (44) 3484

岩手県大船渡港



松前商店

〒022-01 気仙郡三陸町越喜来字前田33-1
☎0192(44)3156 FAX(44)3484
フリーダイヤル 0120(44)3484

三陸・海の幸

産地直送

東京・築地 70年の実績を基盤に、流通・情報・開発力で食産業に貢献。

東京都中央卸売市場

中松物産株式会社

代表取締役社長 中山福松

本社 東京都中央区築地3-7-11

TEL 03 (3543) 1556 (代)

FAX 03 (3543) 1590



カネサン水産本社

カネサン水産株式会社

代表取締役 伴 圭司（水産増殖学科1976年卒）

●当社には本校卒業者他10名在職しています

事業内容

国内外のマグロを中心とする水産物の食品商社

●関連会社●かねさん食品 カネセン千歳食品

〈本社〉東京都江戸川区臨海町3-3-1

TEL03-3878-4666(代) E-mail: kkanesan@pg7.so-net.ne.jp

消費者から学び消費者に奉仕する。

この合言葉をモットーに着実に歩みつづけています。

水産・一般食品・冷凍・業務食・酒類の総合食品問屋



株式会社 昭和

代表取締役社長 青山 和暁

本部〒492-0002愛知県福沢市福島町中之町80

TEL (0587) 34-3400

営業所 愛知・三重・静岡・埼玉

祝 三水会設立20周年！

ADVERTISING AGENCY

株式会社 ホロン

代表取締役 小泉康志（8期）

TEL 03-5261-0311

宿泊・飲食・コテージ
三陸にお越しの際はぜひ

遊・YOU・亭 夏虫へ！

夏虫のお湯っこ（入浴施設）
も大好評！

三水会割引もあります（宿泊）
お気軽にお問い合わせください

〒022-0101

岩手県気仙郡三陸町越喜来字小出59-1

TEL0192-44-3711 FAX 0192-44-3713



マッチ・ティッシュ・ライター・印刷・SP販促企画

播磨商事株式会社

〒111-0034東京都台東区雷門1-8-1

TEL 03-3842-6601

FAX 03-3842-6629

北里大学水産学部同窓会設立20周年記念講演

人間と海、そして自然。



講師：井田 斎 教授



講師：清水 國明 氏

- 開催日 平成12年11月4日（土）
- 場 所 池袋サンシャインシティ文化会館5階（501会議室）
- 時 間 午後4：00～6：00（受付午後3：00～3：50）
- 参加費 無 料（要申し込み）
- 内 容 「人間と海、そして自然」を語る
北里大学水産学部 井田 斎 教授「魚から見た自然」
タレント 清水 國明 氏「アウトドアの心得」

申し込み、お問い合わせ先

北里大学水産学部同窓会事務局 三水会

〒246-0031 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷5-22-1

TEL FAX 045-303-3135 (石井方)

*敬称は省略させていただきました。